

■プラン名:

生成AIリテラシーを育てる出前授業と認定ティーチャーによる授業伴走支援プラン

■企業名:

株式会社みんがく

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

1. 情報Ⅱ等の教科・科目の開設等

2. デジタル環境の整備と教育内容の充実

3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置



●概要

情報Ⅰ（1）情報社会の問題解決

情報Ⅱ（5）情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究

総合的な探究 ※学校の教育課程や学習内容に応じて、他の教科・単元や文理横断的な学習活動においてもご相談いただけます。

生成AIで問いを生み、探究につなげる出前授業

本プランは、生成AIを活用して生徒の思考を広げ、**問いを生み出し、探究につなげることを目的とした出前授業**です。情報Ⅰ（1）や情報Ⅱ（5）、総合的な探究の時間において、生成AIを「考える相棒」として活用し、課題発見や思考の整理を支援します。認定ティーチャーによる伴走支援により、**単発で終わらない探究的な学びの定着**を図ります。

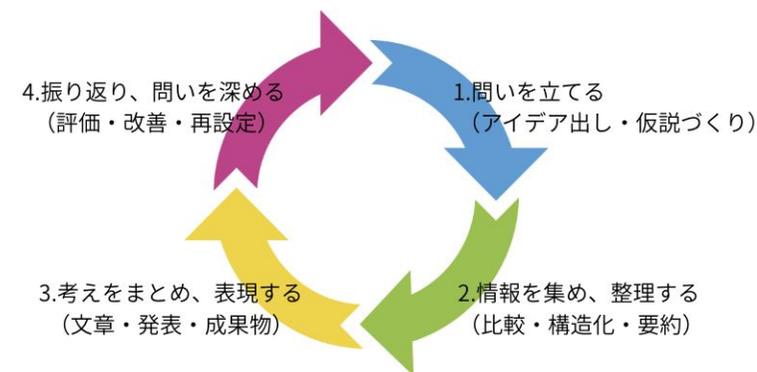
<対象>

- 情報Ⅰ（1）情報社会の問題解決における授業の一環としてご活用ください。
- 情報Ⅱ（5）情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究に向けた導入授業としてご活用ください。
- 総合的な探究の時間における、課題設定や問いづくりの場面でご活用ください。
- 生成AIを活用した探究的な学びを、これから授業に取り入れたい学校における導入機会としてご活用ください。

<期待される効果>

- 生成AIの特性を理解し、**自ら問いを立て、考えを整理する力**が育成されます。
- 情報Ⅰ・情報Ⅱや総合的な探究の時間において、**探究的な学びへの意欲と見通し**を持つことができます。
- 出前授業をきっかけとして、**探究学習を授業として継続・発展させる土台**を築くことができます。

生成AIとともに回す、 探究的な学びのサイクル



授業で使用するAI

【総合・探究】探究プロジェクト計画

子どもたちのプロジェクトの立案～計画までをサポート



はじめる

【総合・探究】探究の情報の収集サポーター

探究学習に必要な情報を特定し、効率的かつ多角的に情報を集める



はじめる

【国語】小論文添削

生徒が書いた小論文を添削し、改善点を指摘してもらう



はじめる

【全科目共通】授業振り返り

授業後に学びを深めるために生徒自身が学習を振り返るためのモ...



はじめる

💡 生成AIを活用し、「問いを生み出す力」を引き出す探究導入授業

- 生徒の思考を広げる「考える相棒」としての生成 AI活用
- 課題発見や問いづくりに焦点を当てた探究学習の導入
- 情報Ⅰ・情報Ⅱ、総合的な探究の時間につながる授業内容

🛡️ 生成AIの特性と留意点を学ぶAIリテラシー授業

- 生成AIの仕組みや得意・不得意に関する基礎理解
- 情報Ⅰ(1)情報社会の問題解決に対応した情報リテラシー教育
- 安全で適切な生成AI活用に向けた基礎的知識の習得

👥 授業設計から実践までを支える教員向け伴走支援

- 認定ティーチャーによる授業設計・実践支援
- 学校の実情に応じた生成AI活用方法の検討
- 単発で終わらせない探究的な学びの定着支援

●参考価格

(例)【条件】30名×1クラスの場合

| 項目 | 内訳 | 小計(税込) |
|----------------------|---------------------------|------------|
| 講師費用(6回分) | | 300,000円 |
| ライセンス(1ユーザー6,000円/年) | 生徒用:30アカウント 教師用:1アカウント | 186,000円 |
| | | 合計486,000円 |

【留意事項】※まずはお問い合わせください

- 別途講師の交通費、宿泊費がかかります。
- 効果検証等必要な場合は別途費用がかかります
- 本料金は、**生徒用30アカウント・教師用1アカウント**を基本とした参考例です。
- 利用人数や学級数、学校規模に応じて、**柔軟にアカウント数を調整**することが可能です。
- 教師用アカウントは、授業での活用管理や学習状況の把握を目的として提供します。
- 補助金活用期間終了後も、**継続して利用しやすい価格体系**で提供します。
- 初期導入費や追加のシステム構築費は不要で、**導入後すぐに利用開始**できます。

認定ティーチャー出前授業：AIを活用したプロジェクト型学習 (PBL)の実践

外部講師の「講演」ではなく、学校に「授業設計スキル」を残す自走型支援プログラム。

1. 導入の目的と持続性

補助金終了後を見据えた設計

外部講師の一時的な授業で終わらず、現場の先生に「生成AI×PBL」の指導ノウハウを移転。DXハイスクール等の予算活用において、持続可能な授業モデルを構築します。

スクールAI認定制度の活用

- 自立した授業運営：事前打ち合わせと事後FBで、先生自身の指導力を強化。
- 授業アプリの複製：研修で使用した独自のAIモードをそのまま学校に提供。
- 認定資格への道：実践を重ねることで「認定ティーチャー」の取得を支援。

導入校 600校+ 12万人+

安心・安全の環境

2. 伴走支援のタイムスケジュール

専門家が段階的に伴走するトータルサポート案

| | 内容 | 形式 | スキル |
|-------|--------------------|---------|------------------|
| 出前授業 | AIリテラシーについて | 直接指導 | AIリテラシー |
| 1回目 | 授業検討会 | オンライン | AI活用知識 指導ノウハウ |
| 2回目 | 授業設計サポート | オンライン | 授業設計 |
| 3回目 | 予行演習や フィードバック | オンライン | 授業設計 |
| アプリ作成 | 授業用と評価用 にアプリを作成 | 非同期サポート | アプリ作成方法 |

最先端の実践を行う認定ティーチャーが複数名でサポート。

3. AIを活用したPBLメニュー

主体性を引き出すプロジェクト構成

AIを「答えを出す機械」ではなく「思考を壁打ちする相棒」として定義し、プロジェクトを深化させます。

- 1 **課題発見とアイデア発散**
地域や社会の課題に対し、AIと対話して100個のアイデアを出し、視点を広げる。
- 2 **論理構築と逆説的検証**
AIに「反対意見役」を演じさせ、自身の提案の弱点を特定し、多角的な検証を行う。
- 3 **社会実装のシミュレーション**
インタビュー設計やプレゼン骨子をAIと共創し、実社会へ届くアウトプットへ昇華。

PBLとDXの融合

仲間との話し合いをAIで可視化し、プレゼン等で他者へ伝える。このプロセス自体が自然とDXスキルの習得に繋がります。

見やすいユーザーインターフェース

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| <p>【全科目共通】教科における探究課題発見アプリ</p> <p>各教科で学習した内容から探究課題を見つけるサポートをするア...</p>  <p>はじめる</p> | <p>【全科目共通】web情報収集アプリ</p> <p>知りたい内容についてweb検索をするアプリです。下部の「生成...</p>  <p>はじめる</p> | <p>【全科目共通】学びサポーター</p> <p>質問に対するヒントや考え方を教えてくれる</p>  <p>はじめる</p> | <p>【全科目共通】板書やワークシートから問題生成</p> <p>板書やワークシートから効率的に振り返りテストを生成し、学習...</p>  <p>はじめる</p> | <p>【全科目共通】ディスカッション</p> <p>テーマを決めてディスカッションをするアプリ</p>  <p>はじめる</p> |
| <p>【全科目共通】授業振り返り</p> <p>授業後に学びを深めるために生徒自身が学習を振り返るためのア...</p>  <p>はじめる</p> | <p>【全科目共通】登場人物と会話しよう！</p> <p>歴史上人物や教科書に出てくる登場人物やキャラを指定すること...</p>  <p>はじめる</p> | <p>【国語】討論練習</p> <p>特定のテーマについて生徒同士で意見を交わし、討論する</p>  <p>はじめる</p> | <p>【国語】読解問題のヒント</p> <p>長文読解の際のアプローチ方法や解答のヒントを提供</p>  <p>はじめる</p> | <p>【国語】要約練習コーチ</p> <p>文章の要約練習のコーチとして助けてくれます。</p>  <p>はじめる</p> |
| <p>【国語】小論文添削</p> <p>生徒が書いた小論文を添削し、改善点を指摘してもらう</p>  <p>はじめる</p> | <p>【国語】読解サポート</p> <p>本文を事前入力すると、AIが読解を進めるサポートをしてくれま...</p>  <p>はじめる</p> | <p>【国語】作文のナビゲーター</p> <p>テーマに沿った作文の書き方を学ぶ</p>  <p>はじめる</p> | <p>【国語】条件付き作文練習</p> <p>文章作成と感想記述を通じて、国語力と表現力を養う学習アプリ</p>  <p>はじめる</p> | <p>【国語】テーマ別的小論文アドバイス</p> <p>小論文のテーマに関して書き方の案を示します。</p>  <p>はじめる</p> |

よく利用されているテンプレート（一部）

先生

作成する

各教科の問題を生成する
授業のスライド作成
教材プリント作成
行事案内作成
報告書作成

考える

指導案作成
行事企画作成
所見作成補助
志望理由書添削
学級通信のネタ出し

対話する

GPT-5
授業案のフィードバック
保護者面談練習
先生のお悩み相談
自己分析

生徒

作成する

応用問題の作成
作文構成サポート
プレゼン作成のサポート
志望動機・自己PR文作成サポート
プログラミングサポート

考える

授業の振り返り
英作文・小論文の添削
職業調べ
探究のテーマ出し
実験の手順を考える

対話する

学びサポーター
英会話トレーニング
ディスカッション練習
歴史人物との対話
探究プロジェクト相談

先生に役立つ設計①

先生をサポートする強力な味方 「生徒個別最適」

生徒の性格・興味や学力レベルに合わせて、対話の内容が変わる！

学習ログを分析し、個別サポートができる

STEP①

生徒管理画面で生徒の特徴や検定試験の取得資格等の生徒の個別情報を追加することができる



STEP②

生徒管理画面のオリジナル情報をプロンプトに差し込むことで、生徒の性格・興味・学力に応じた対話が可能に



STEP①

生徒個々の利用履歴を分析しひと目で「学びの状況」を把握できる



STEP②

どのような単語をよく使っているか分析し、「学びの傾向」を把握できる



STEP③

会話分析から「生徒の特徴や関わり方を先生にアドバイス」し、生徒とのコミュニケーションを助ける



利用している生徒・先生からのコメント

生徒からのコメント



- 授業で使ったAIが、難しい説明をわかりやすく説明してくれた。
- 英語の練習問題をスクールAIとたくさんできるから楽しい。
- 織田信長と会話して、時代の様子がしっかり理解することができた。
- 授業の振り返りでAIがアドバイスをくれるから、次に何を頑張ればいいかがわかるようになった。
- 作文のヒントをくれるので前よりも書くことが簡単にできるようになった。
- 英会話練習でAIを使ったら、たくさん話す機会が増えて発音もよくなった気がする。

先生からのコメント



- スクールAIを活用することで、日常業務の効率が大幅に向上した。
- 特に指導案作成やテスト作成など、教員が多く時間を費やす業務に有効活用できた。
- 授業の質向上に集中できる余裕が生まれた。
- 新たな学びの可能性を広げるツールとして期待が高い。
- 他の業務に時間を割くことができた。
- 使い方次第で生徒の成長をサポートできるツールだと感じた。

ご興味がありましたら、以下からお問合せください。

企業名: 株式会社mingaku

電話: 03-4335-3965 平日9:00~18:00

メール: info@mingaku.net

ホームページ: <https://school-ai.mingaku.net/>